

天地初発之時……

『古事記』上巻



特集



國學院大學

神道文化学部の就職力!

もっと日本を。もっと世界へ。



國學院大學



成人加冠式で



株式会社アクセア 内定

榎本 実由さん
フレックスB（昼間主）4年



入学当初から一般企業への就職を目指していたこともあり、神職課程は履修しませんでした。いよいよ就職活動。面接では「神道文化学部はどんな学部？」「何を勉強しているの？」とよく質問されました。ゼミで研究していた世界各地の精霊信仰についても「その学びを、わが社でどう活かすのですか？」と問われました。



そんなときは、こう答えました。「日本の神道を中心に、世界の宗教文化について幅広く学んでいます。また、『神道英語』という科目で、日本文化を外国の人たちに説明するトレーニングを積みました」。

併せて、積極的に海外に赴き、異文化体験を心がけてきたこと、そうした学修や経験を仕事に生かしたいと考えていることをアピールしました。



おかげさまで内定をいただいた企業は、幅広く情報加工を担う会社で、どこか親身でフレンドリーな雰囲気がありました。自分にとって運命の会社と思って、一生懸命お勤めしようと思っています。

神道文化学部での学び、海外での異文化体験を、これからの活かします



神道文化学部の学びは、企業が大切にしていることに通じていました



株式会社はせがわ(お仏壇のはせがわ) 内定

秋元 真奈さん
フレックスB（昼間主）4年



私は社家出身ではありません。神職課程を履修していましたが、神社への奉職か一般企業かを決めかねていました。そんなとき頼りになったのは友達でした。所属していた雅楽サークル「青葉雅楽会」には、他学科に在籍し一般企業を目指す人も多く、お互いに相談や情報交換をしていました。



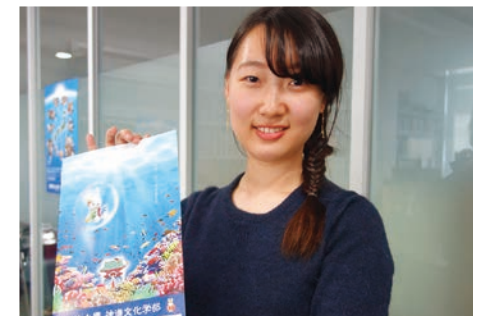
就職活動では、大学で自分が何をやってきたか、何を身に付けたのかが問われます。私自身についていえば、観月祭で雅楽奉仕を続け、「日本のこころ」をしっかりと身につけたことがアピールの柱になりました。雅楽をやっていて本当によかったと思います。



神道文化学部は、「日本のこころ」を学ぶ学部です。「こころ」を大切にする企業は決して少なくありません。内定をいただいた企業は、「心の平和・心の豊かさ」をモットーとする企業理念をもっています。神道の学びで体得した「まごころとマナー」を活かし、精一杯お務めしていきたいと思っています。



ヘイヴンズ教授と





成人加冠式で



入学以来、放送業界を目指し、夢をかなえることができました



株式会社バンエイト 内定

三戸部 瞳さん
フレックスA（夜間主）4年



神道にはずっと親しんできました。小学生のころは神社のこども会に参加し、中学生になってからは、明治神宮崇敬会の青年部で幼児育成のボランティア活動に携わりました。高校在学中には「国際交流プログラム」に参加し、自分の母国の文化をもっと大切にしなければならぬことを痛感しました。放送関係に進みたいという将来の目標を見出したのも、ちょうどこのころでした。



「神道文化学部で、自分の目標達成のためのバックグラウンドを作ろう。日本の宗教・神道を中心に、世界の宗教文化を幅広く学ぶことは、必ず自分の目指す進路にとってプラスに働くに違いない…」そんな思いから、入学を決めました。入学後は、アナウンス部に所属して仲間たちと実践に励むとともに、テレビ局併設のスクールに通いアナウンスや番組制作のスキルを学びました。



3年次には新聞社でのインターンシップにもチャレンジしました。通常の学生生活ではあり得ない「他流試合」の機会になったと思います。その甲斐あって、フジテレビの関連会社から内定をいただくことができました。長年目指してきた業界です。日々工夫をこらして、よい番組を届けられるようにしていきたいと思っています。



クラブツーリズム株式会社 内定

山之口 歌織さん
フレックスB（昼間主）4年



母方の家系は代々の神職です。以前在籍していた女子大では、その神社の風土や歴史を巡って卒論を作成しました。その過程で、「もっと神道を本格的に学びたい」という思いが強まり、神道文化学部に入入学したのです。



『古事記』の講読では、日向、出雲、伊勢、大和など神話の舞台に旅心がそられました。「神道と環境」の授業では、神道の価値観が世界の環境問題に貢献し得るということに、目から鱗が落ちる思いがしました。



就職活動では旅行業界を目指しました。おかげさまで自分が「ぜひとも入社したい」と願っていた会社から、内定をいただくことが叶いました。



神道文化学部で神道を学ぶことによって、私の夢はいっそう膨らみました。私の夢は、「歴史や文化に特化した旅」を作り上げることです。グローバル時代だからこそ「地域らしさ」が求められています。私を含めて、日本のことを熟知し、詳しく説明できる人は、まだまだ少ない状況です。「日本人こそ日本文化を知ってほしい、日本を好きになってほしい」と願っています。

「日本を知る旅」を企画していきたいと思っています



「就職活動ノート」



武田学部長と





成人加冠式で



明治神宮 事務職 内定

村田 睦さん

フレックス B (昼間主) 4 年



出身は北海道です。「北の国から」のような自然の中で育ちました。アートをきっかけに、日本の祭礼や民俗の世界を深く学びたいと思うようになったのが高校3年のとき。そこで進学先を選んだのが本学の北海道短期大学部でした。在学中、短大の紀要に小論を掲載させていただいたことが何よりの思い出です。調べる楽しさ、まとめる楽しさに目覚めるきっかけにもなりました。



さらに学びを深めるために神道文化学部へ編入学。短大時代、「神道概説」の集中講義を受講した武田秀章先生のゼミに入りました。ミクロなテーマを細かく掘り下げるのが大好きです。神道文化学部だけあって、授業内容はとても専門的ですが、「むずかしい」「わかりにくい」と感じたことは一度もありません。未知の知識にふれることがとても新鮮でした。



卒業後は、社家出身ではないものの、明治神宮の事務職として奉職内定をいただきました。入学当初、明治神宮に初めてお詣りしたときの清々しい心持ちは今でも忘れません。精一杯ご奉仕したいと願っています。



海外から入学して、憧れの神社に奉職がかないました



京都 貴船神社 内定

陳 保吉さん

フレックス B (昼間主) 4 年



私の故郷は台湾です。かねてから日本の文化に関心があり、「日本の根幹である神道をぜひ学びたい」という思いから神道文化学部へ入学しました。1年、2年、3年、そして4年と、ひとつひとつの段階を経て、着実に自分の学びを深めていくことができたと思います。



2年次には大学の恒例行事である成人加冠式に参列し、新成人代表として記念品を拝受する役を仰せつかりました。また例年の観月祭では斎庭係として裏方仕事を担い、若木祭では仲間たちと一緒に神輿を担ぎました。この学部ならではの年中行事を、しっかりとエンジョイできました。



2年次に明治神宮で、3年次は京都の神社でそれぞれ実習させていただきました。このときに「京都のお宮で奉職する」という私の夢が明確になりました。



おかげさまで、京都の「水の恵み」を司る由緒あるお宮から奉職内定をいただくことができました。卒業後、暫く母国で兵役を務めたのち、正式に奉職させていただく予定です。奉職後は懸命に神明奉仕に勤しみ、自己を陶冶していきたいと願っています。

社家ではありませんが、神社への奉職がかないました





業界トップシェアを誇る「モノづくり」の企業で働いています



日東工器株式会社 勤務

宮内 里菜さん

フレックス B (昼間主) 2015 年度卒業



鎌倉市内の女子高で学ぶうち、神社やお寺に親しみを抱くようになり、神道文化学部への入学を決めました。実家は社家ではありません。入学当初から一般企業への就職を目指しました。副専攻で経済学部の科目を履修し、簿記の資格も取得。3 年次になると、市役所や IT 企業でのインターンシップを通じて社会経験を重ねました。



大学行事にも積極的に参加し、観月祭で「浦安の舞」の舞姫を務めました。あがり症の私は、舞台上上がるまでは「とにかく神様に対して一生懸命舞うことだけを考えよう」と決意していましたが、舞うにつれて、「実は自分こそ神様に見守られてきたんだ」という思いがしみじみと込み上げてきました。神楽舞を通じて、神様のおそばに少しでも寄り添うことができたのではないかと思います。



就職活動では、観月祭の経験や、ゼミでの「神社の社会貢献」の研究、入学アドバイザーとしての活動などをアピールしました。おかげさまでその業界トップシェアを誇る「モノづくり」の企業から内定をいただくことができました。その企業は、どこか神道文化学部と似た「和の心」を重んずるポリシーが感じられ、内定をいただく前から心惹かれるものがあつたのです。



私が辛い時期を乗り越えることができたのは、周囲の方々のご配慮の賜物です。人智を超えたものの「おはからい」で、さまざまな縁が繋がり、自分の道が開けていったように感じています。

◆ 神道文化学部独自の各種講座

神道文化学部では、就職・奉職、および就職・奉職の「その先」を見据え、素養とスキルを高めるための各種講座を開催しています (無料)。



女子学生のための就職セミナー



マナー講座



書道講座



和歌講座



衣紋講座



田んぼ学校

オープンキャンパス (渋谷キャンパス)

5月14日(日)、6月25日(日)、8月4日(金)・5日(土)、27日(日)、10月29日(日)

お問い合わせ：入学課 電話 03-5466-0141